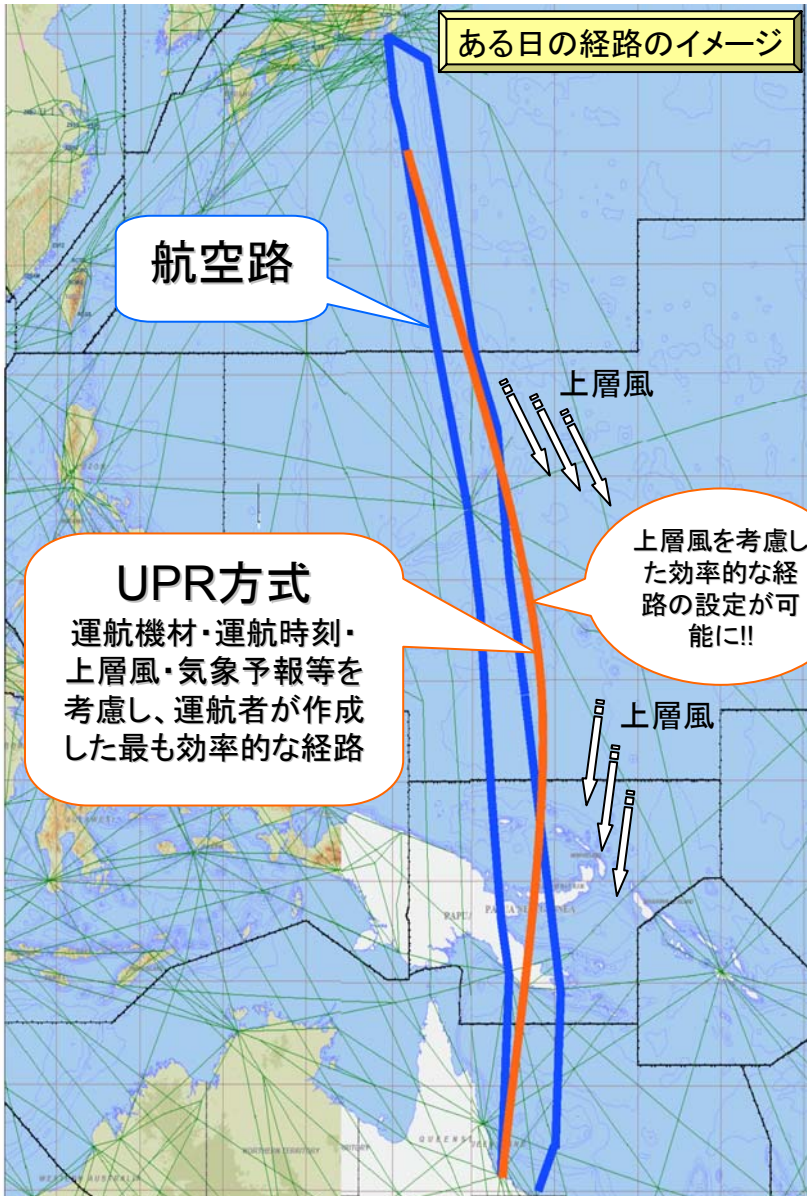


# 日本-オーストラリア間におけるUPR方式



## 【参考】

### 日本・オーストラリア間における UPR導入効果の試算

消費燃料削減量(年間) 約250万ポンド  
約142万リットル  
ドラム缶(200リットル)換算で、約7,100本

CO<sub>2</sub>削減量(年間) 約3,500トン  
一般家庭(年間排出量約5.3トン)で、約660世帯分  
樹齢50年のスギの木に換算して、約25万本分

一般家庭の年間排出量は、(独)国立環境研究所「温室効果ガスインベストリオフィス」による

樹齢50年のスギの木が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>は14kg(林野庁による)

削減金額(年間) 約5千4百万円

シンガポール市場のケロシン価格の2009年5月第3週の平均値(1ガロン=1.52ドル)で算出  
1ドル=95円(2009年5月26日の為替相場)で算出

※ IATA試算(ある会社の実際の運航実績と燃料消費上最適な経路を飛行した場合を比較したものを)を基に、日本-オーストラリア間に就航している定期便の全てがUPR方式により飛行した場合の試算。